

日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム  
2025年度第1回コンソーシアム会議（全体会議）議事録

日 時： 2025年4月30日（水）15:00～16:00

場 所： Zoom ミーティング

出席者：（敬称略） 出席者下線

ゲスト：宮里 心一（金沢工業大学 学長補佐，教授）

代 表：廣瀬壯一 副 代 表：山本誠（部会 3）

幹 事：白旗弘実（部会 1）、湯地敏史（部会 2）、伊藤宏幸

委 員：結城義敬、久保田寿夫、田中皓介、高橋章浩、岩附信行、  
中澤浩介、三田清文、新宮清志、細沢治、吉田佳典、後藤まどか、  
井上裕嗣

オブザーバ：對崎真楠、今井悠一郎、和田卓、加藤修

山口 愛（神奈川県立産業技術研究所）

維持員：石田好輝、最上公彦、森田勉

顧 問：有信睦弘、松瀬貢規、岸本喜久雄

事務局：竹内章晃

議 題：

1. 話題提供

『市町村の道路維持管理に関するキーパーソン育成への挑戦』について

金沢工業大学 学長補佐 博士(工学)

工学部 環境土木工学科 教授

地域防災環境科学研究所 所長

KIT×KAJIMA 3D Printing Lab 所長

宮里 心一 様

2. 2024年度第3回（1/23）コンソーシアム会議議事録確認

3. 各部会報告

4. 今後の活動について

5. その他

配布資料：

0-1：2025年度第1回科学技術人材育成コンソーシアム会議 議題表

0-2：2025年度科学技術人材育成コンソーシアム役員・委員名簿(最新)

1：『市町村の道路維持管理に関するキーパーソン育成への挑戦』について

2：2024年度第3回（1/23）コンソーシアム会議議事録

議 事：

1. 話題提供 『市町村の道路維持管理に関するキーパーソン育成への挑戦』について

SIP「スマートインフラマネジメントシステムの構築」のサブ課題C「地方自治体等のヒューマンリソースの戦略的活用」に関連して研究開発責任者の宮里教授より話題提供があった。

まず、能登半島における災害、社会情勢、インフラの状況、市町村への事前ヒアリング調査結果など研究背景の説明の後、当該課題の目的が北陸地方における道路インフラの維持管理のための人材育成にあることが紹介された。具体的な取組としてオンデマンド教材の作成や体験講習会・セミナーの開催の他、仮想空間プラットフォームやデジタル版手引きなどの統合システムの構築並びにワークショップの開催を予定しており、ポジティブ心理学を取り入れた well being の導入や SNS 及びマスコミを介した啓発といったユニークな取組についても紹介された。講演後、いくつか質疑応答がなされた。

C1：インフラの安全性に関連して、市町村のインフラの管理責任は市町村にある。万が一の事故に対する国家賠償法の制度などへの意識づけも必要。

C2：市町村には専門分野以外のインフラ担当者もいる。そのような人にも最低限の知識を身につけて意識改善をしてもらうことが必要である。

C3：市町村の人材育成の継続性に関して地元コンサルなどを取り入れることが考えられる。周辺市町村をひとまとめにした活動もあり得るが、北陸地方においては難しさがある。

C4：SIP 終了後の事業継続性についても点検アドバイザーなどいくつかの仕組みを考えている。

## 2. 2024 年度第 3 回（1/23）コンソーシアム会議議事録確認

前回の議事録案を承認した。

なお、通例の議題に入る前に、今回からオブザーバとして参加の JST 加藤氏より挨拶があった。また、オブザーバ参加の神奈川県立産業技術総合研究所 山口氏よりコメントがあった。

## 3. 各部会報告

第一部会、第二部会については今回新たな報告はなかった。

第三部会については、次回世界エンジニアリングデー(2026 年 3 月 4 日)に向けて 10 月頃から準備が始まる予定であるとの報告があった。

## 4. 今後の活動について

次回会議を 7,8 月辺りに開催する。

## 5. その他

特になし。